

平成29年度県内小・中学校における農業体験学習実施調査結果(平成30年3月)

◎農業体験学習実施状況

	小学校					
	学校数 (A)	回答数 (B)	回答率 (C)	実施校数 (D)	実施率 (D/B)	前回実施 率(H27)
大河原教育事務所	47	41	87.2%	35	85.4%	84.1%
仙台教育事務所※1	66	59	89.4%	47	79.7%	73.7%
北部教育事務所(大崎)	48	44	91.7%	40	90.9%	93.6%
北部教育事務所(栗原)	12	10	83.3%	9	90.0%	75.0%
東部教育事務所(登米)	22	22	100.0%	19	86.4%	95.0%
東部教育事務所(石巻)	43	38	88.4%	31	81.6%	82.5%
南三陸教育事務所	21	17	81.0%	16	94.1%	90.0%
仙台市教育委員会※2	120	96	80.0%	67	69.8%	68.6%
私立・国立・県立	6	4	66.7%	2	50.0%	66.7%
合計	385	331	86.0%	266	80.4%	79.5%

※1 塩竈市, 名取市, 多賀城市, 岩沼市, 亶理郡, 宮城郡, 黒川郡(仙台近郊)

※2 仙台市内

	中学校					
	学校数 (A)	回答数 (B)	回答率 (C)	実施校数 (D)	実施率 (D/B)	前回実施 率(H27)
	23	18	78.3%	9	50.0%	35.0%
	39	30	76.9%	22	73.3%	52.9%
	19	18	94.7%	12	66.7%	43.8%
	8	7	87.5%	3	42.9%	66.7%
	10	9	90.0%	5	55.6%	37.5%
	23	22	95.7%	10	45.5%	31.8%
	13	11	84.6%	3	27.3%	21.4%
	64	55	85.9%	50	90.9%	87.5%
	11	6	54.5%	1	16.7%	50.0%
合計	210	176	83.8%	115	65.3%	55.6%

	小・中学校合計					
	学校数 (A)	回答数 (B)	回答率 (C)	実施校数 (D)	実施率 (D/B)	前回実施 率(H27)
大河原教育事務所	70	59	84.3%	44	74.6%	68.8%
仙台教育事務所	105	89	84.8%	69	77.5%	65.9%
北部教育事務所(大崎)	67	62	92.5%	52	83.9%	81.0%
北部教育事務所(栗原)	20	17	85.0%	12	70.6%	71.4%
東部教育事務所(登米)	32	31	96.9%	24	77.4%	78.6%
東部教育事務所(石巻)	66	60	90.9%	41	68.3%	64.5%
南三陸教育事務所	34	28	82.4%	19	67.9%	61.8%
仙台市教育委員会	184	151	82.1%	117	77.5%	75.3%
私立・国立・県立	17	10	58.8%	3	30.0%	57.1%
合計	595	507	85.2%	381	75.1%	71.2%

①回答率は86%(平成27年も86%)

② 県内小・中学校の農業体験学習実施率75.1%(平成27年度 71.2%)

③小学校の実施率は横ばい。

小学校 80.4%(H27 79.5%)

中学校の実施率は増加。

中学校 65.3%(H27 55.6%)

④小学校では, 仙台管内(仙台市除く)や, 栗原管内で前回より増加。

⑤中学校では, 大河原, 仙台, 大崎, 登米管内で増加した一方, 栗原所管内で減少した。

◎農業, 林業, 水産業等体験学習実施状況

1 これまでの農業体験に加え, 水産業や林業体験, 体験以外の農業に関する学習※等についても調査を実施した。

※体験以外の農業に関する学習

例)JAや農業者などから, 地域の農業や農作業について話を聞く, 職場研修や教育旅行の事前準備として, 農業について学ぶ, カントリーエレベーターなど農業施設の見学等

2 県内小・中学校での農業体験学習等実施率は82.4%

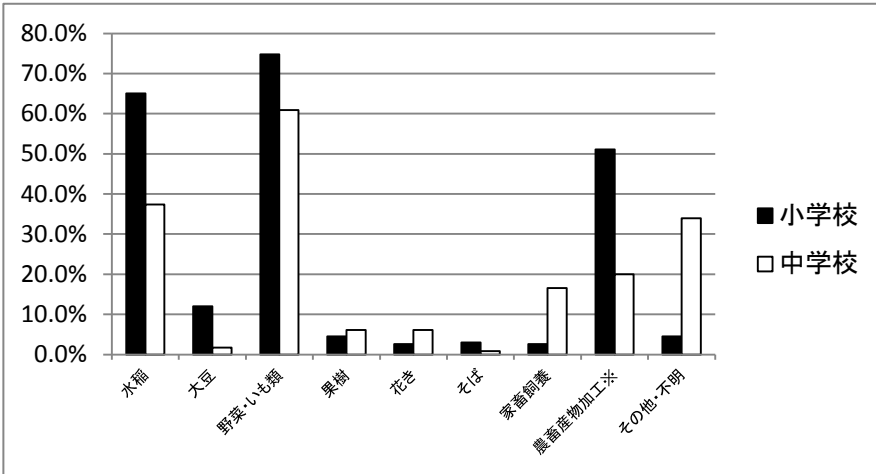
	小学校				中学校				小・中学校合計			
	学校数 (A)	回答数 (B)	実施校数 (C)	実施率 (C/B)	学校数 (A)	回答数 (B)	実施校数 (C)	実施率 (C/B)	学校数 (A)	回答数 (B)	実施校数 (C)	実施率 (C/B)
大河原教育事務所	47	41	36	87.8%	23	18	11	61.1%	70	59	47	79.7%
仙台教育事務所※1	66	59	51	86.4%	39	30	22	73.3%	105	89	73	82.0%
北部教育事務所(大崎)	48	44	40	90.9%	19	18	13	72.2%	67	62	53	85.5%
北部教育事務所(栗原)	12	10	9	90.0%	8	7	5	71.4%	20	17	14	82.4%
東部教育事務所(登米)	22	22	22	100.0%	10	9	5	55.6%	32	31	27	87.1%
東部教育事務所(石巻)	43	38	35	92.1%	23	22	13	59.1%	66	60	48	80.0%
南三陸教育事務所	21	17	17	100.0%	13	11	7	63.6%	34	28	24	85.7%
仙台市教育委員会※2	120	96	77	80.2%	64	55	52	94.5%	184	151	129	85.4%
私立・国立・県立	6	4	2	50.0%	11	6	1	16.7%	17	10	3	30.0%
合計	385	331	289	87.3%	210	176	129	73.3%	595	507	418	82.4%

※1 塩竈市, 名取市, 多賀城市, 岩沼市, 亶理郡, 宮城郡, 黒川郡(仙台近郊)

※2 仙台市内

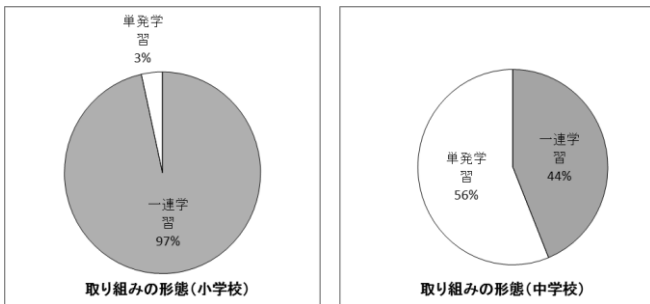
◎農業体験学習実施校での具体的な取組内容

1 取組んでいる部門(複数回答)

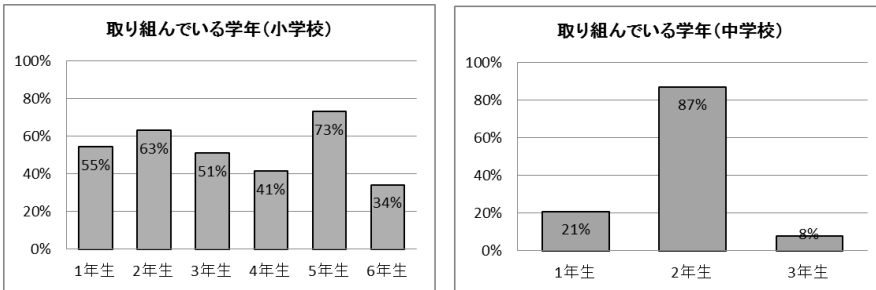


※農畜産物加工には調理実習での調理や収穫祭などの学校行事等の取組も含む

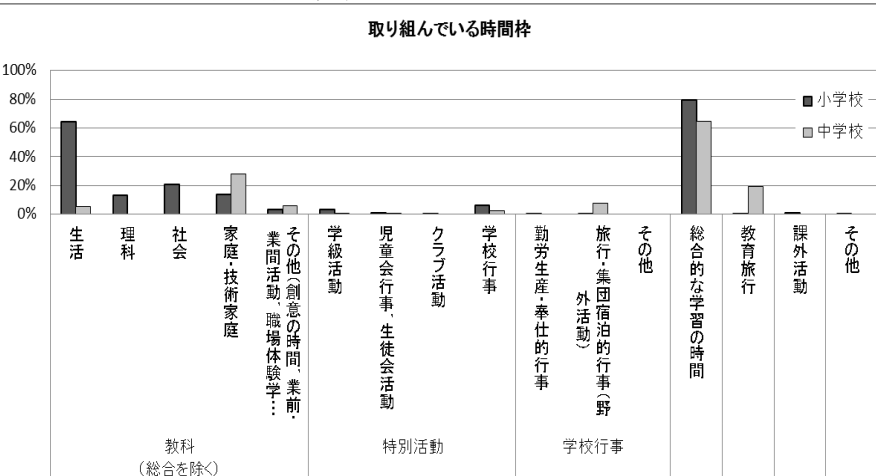
2 取組の形態



3 取組んでいる学年(複数回答)



4 取組んでいる時間枠(複数回答)



1 取組んでいる部門

①小学校では野菜(いも類含む)や水稲栽培、大豆栽培等を実施し、その生産物を使った農産加工(豆腐やずんだ、味噌づくり)など一連の取組を実施している場合が多い。野菜部門ではさつまいもやばれいしょ、ミニトマトなどが多く栽培されている。また、栽培品目として地域の代表的な農産物を取り入れているケースも多い。

②中学校では学校農園等ほ場での栽培ではなく、教育旅行等での受け入れ先での農作業体験が多い。

<農産物加工の具体例(小・中共通)>

餅つき、豆腐づくり、味噌づくり、ずんだづくり、そば打ち、野菜や米を使った調理実習、バターづくり、こんにゃくづくり体験 等

<その他の具体例(小・中共通)>

きのこ、綿花、養蚕等

2 取組の形態

①小学校では、作物の栽培に必要な複数の作業(播種・定植、収穫作業等、加工(調理)も含む)を実施する割合が97%になっている。

②中学校では、教育旅行の民泊先での農作業体験や、農家での職場体験などの取組が多いことから、「田植え」や「収穫」などの単発の作業を経験する場面が多い。

3 取組んでいる学年

①小学校では、各学年で実施しているが、特に5年生での取組が多い。

②中学校では、2年生での取組が最も多い。中学校での農業体験の多くは、2学年で実施する教育旅行のプログラムに農業体験が組み込まれている。

4 取組んでいる時間枠

①小学校では「総合的な学習の時間」での取組が最も多く、次に「生活」での取組が多い。学校行事として全学年で取り組む学校もある。

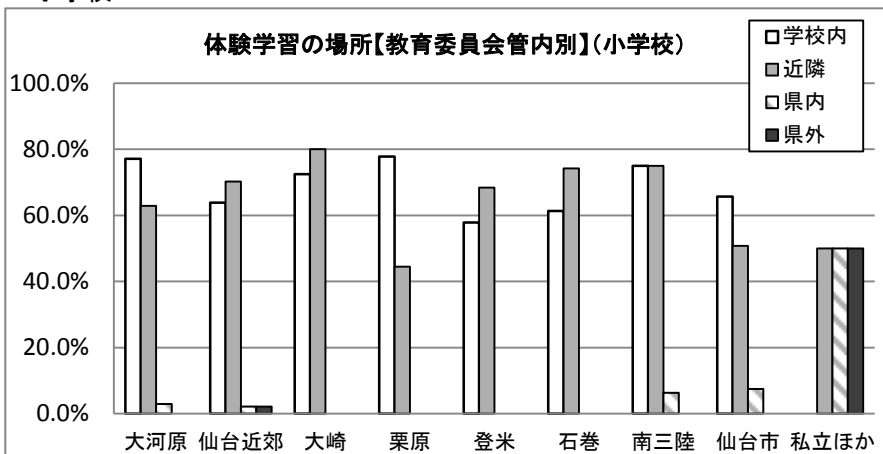
また、単独の授業ではなく複数の時間を使って取り組む学校も多い。

例)「総合的な学習の時間」で農作業を行い、加工については「家庭」で取り組むなど

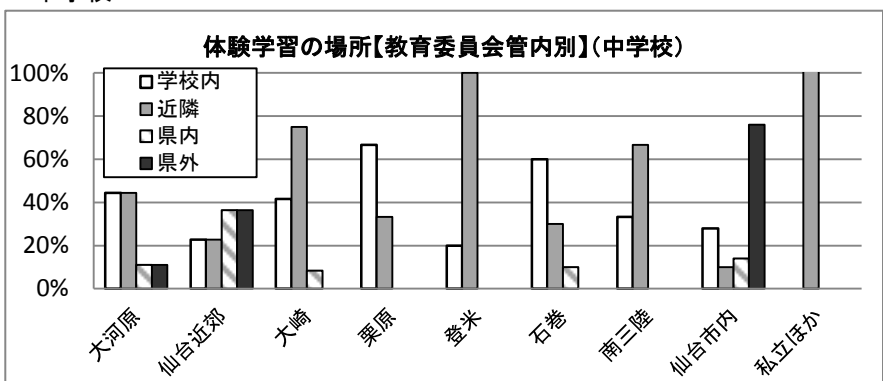
②中学校では、2年生の総合的な学習の時間での取組が最も多く、職場体験学習や、教育旅行など宿泊を伴う取組が多い

5 体験学習の場所(複数回答)

《小学校》



《中学校》



5 体験学習の場所

① 小学校では全地域で、学校内(教材園や校庭に作った田畑)での体験学習が多く実施されている。

② 近隣農家で活動には、田畑を借り受けて学童農園や学習田等としているケースも多い。

③ 県内他地域での活動は、仙台市内の学校で最も多かった。

① 中学校では、仙台市内・仙台近郊の学校が秋田県や岩手県など他県での体験が大きな割合を占めている。

② 県内での体験場所は加美町や大崎市など。加美町にはグリーンツーリズム推進協議会があり、受入体制が整っている。

※県外での主な農業体験実施地域

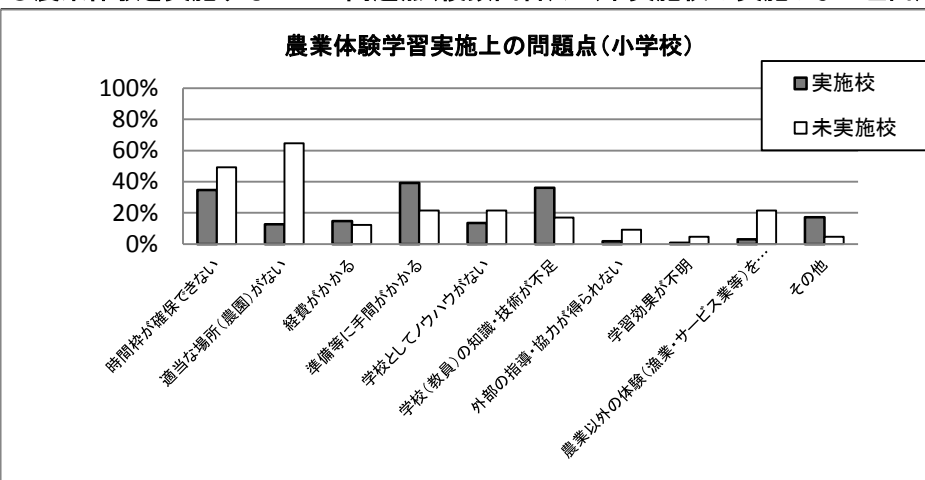
岩手県...久慈市, 奥州市, 一関市, 平泉町, 雫石町, 八幡平, 安比周辺

秋田県...仙北市, 大仙市, 田沢湖周辺

山形県...西川町, 舟形町

福島県...南会津町, 喜多方市

◎農業体験を実施する上での問題点(複数回答)＞(未実施校は実施しない理由)



《小学校》

①実施校においては「準備等に手間がかかる」、「学校の知識・技術の不足」を課題に挙げている学校が多く、また、実施校であっても「体験の時間がない」という回答が多くなっている

②未実施校では、「場所がない」、「時間がない」が多くなっている。

《中学校》

①中学校では、実施校においては「経費がかかる」、「準備等に手間がかかる」等の課題が多かった。教育旅行など、県外への移動や宿泊に経費がかかっている。

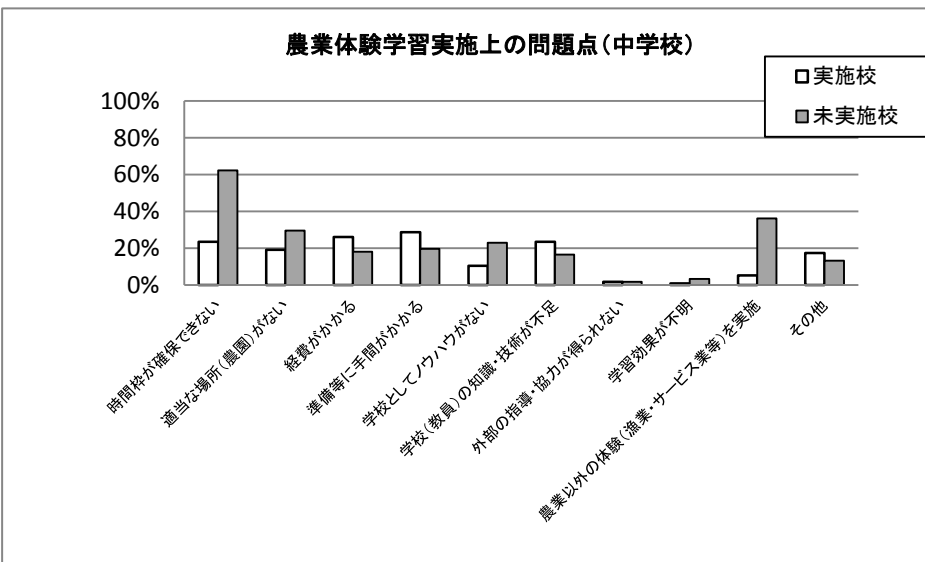
②未実施校では、「時間がない」が圧倒的に多い。次いで、「農業以外の体験学習を実施している」が多い。

③「その他」の具体的内容「天候に左右される」、「長期休業中等の農園管理が困難」、「移動に時間・費用がかかる」、「外部協力者との打合せ時間がとれない」、「鳥獣による被害がある」等

《農業以外の体験学習について》

塩竈市, 石巻市, 気仙沼市, 南三陸町等沿岸部の地域では農業のほか漁業体験に取り組んでいる学校が多い。

体験例) 牡蠣の種つけや殻むき体験, のり養殖, のりすき, さけの稚魚放流等



◎今後の農業体験学習の取組予定

①実施校において、小・中学校いずれにおいても「継続して取組む」「取組む予定」を併せると、9割を超えている。

②未実施校では今後も予定していない学校が、小学校では65%,中学校では77%となっており、学習指導要領の見直し等により体験学習の時間をどう確保するかが課題になっている。

